

研究課題名	日本およびコンゴ民主共和国における天然痘ワクチン接種後 Mpox 感染防免疫応答解析
研究の意義・目的	本研究は、Mpox という新興感染症に関する研究です。Mpox の原因である Mpox ウイルスは、1980 年に地球上から根絶された天然痘の原因である天然痘ウイルスと同じオルソポックス属ウイルスです。天然痘の予防に有効な天然痘ワクチンは、日本では 1976 年まで接種が行われたため、1976 年以前に生まれた日本人のほとんどが接種済みである一方、それ以降に生まれた日本人は天然痘に対する免疫を持たないと考えられます。Mpox ウイルスは天然痘ウイルスと非常によく似たウイルスであるため、天然痘ワクチンがその予防に有効であることが分かっています。これまでアフリカ大陸内でのみ流行が認められてきた Mpox は、2022 年 5 月頃より世界中で流行するようになりました。したがって、日本のワクチン接種者が現在どのくらい Mpox に対して感染を免れる力を持っているかどうかの把握を目的としている本研究は意義深いものであり、大阪公立大学が中心となって行います。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ～ 2030 年 3 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	<p>【天然痘ワクチン接種者（根絶時）：1976 年以前出生者】または【天然痘および Mpox への感染歴がなく、天然痘ワクチンの接種歴がない 1976 年以降出生者】</p> <p>①機関の長の実施の許可日（2023 年 3 月 17 日）～1 ヶ月の間に大阪公立大学医学部附属病院を受診し、ご自身の治療のために血液検査を受けられた成人の方</p> <p>②この研究の研究計画書（Ver.3.0）の実施の許可までに、大阪公立大学医学部附属病院を受診し、ご自身の治療のために血液検査を受けられた成人の方</p> <p>【天然痘ワクチン接種者（現行）】</p> <p>日本における MPOX の潜在的拡大を明らかにする為のハイリスク集団を対象とした血清疫学研究（承認番号 2024-098）に参加された方</p> <p>【Mpox 疑い患者】</p> <p>Mpox 感染症の診断前後を通じた臨床・疫学の追跡レジストリ研究（承認番号 2025-098）に参加された方</p>
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：【血液】</p> <p>診療情報等：【年齢、性別、試料取得日、既往歴、臨床診断、治療内容】</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究では、頂いた試料・情報の一部を大阪公立大学獣医学研究科へ提供します。その際は、特定の個人を識別しない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>この研究は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンゴ民主共和国 国立生物医学研究所（INRB）（Dieudonné Mumba Ngoyi）、ベルギー王国 アントワープ熱帯医学研究所（Laurens Liesenborghs）より試料・情報の提供を受け ・大阪公立大学 大学院医学研究科 ウイルス学／寄生虫学（加来 奈津子） ・大阪公立大学 大学医獣医学研究科 獣医学科（安木 真世）にて行われます。
試料・情報を管	大阪公立大学大学院医学研究科 ウイルス学／寄生虫学 研究責任者 加来奈津子

理する責任者	
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 ウイルス学/寄生虫学 (担当者氏名) 加来 奈津子 電話番号：(06) 6645-3761 メールアドレス：kaku@omu.ac.jp